



ちやたん町

No. 94

2018年12月定例会

発行：2019年2月

ニライの都市をめざす

議会だより

PICK UP! P2

臨時会・定例会 議決結果賛否一覧表 P3

一般質問 16人が登壇 P4～19



PICK UP!

臨時・定例 議会

抗議決議・意見書 全会一致!!

米海兵隊員による
道路交通法違反
事件

米海軍所属
HH-60ヘリコプター
の事故

米軍
嘉手納基地
の銃所持兵に
対する射撃
事件

米軍人・軍属に
よる相次ぐ道路
交通法違反事件

米海兵隊員
による傷害事件

原案
可決

本町議会は町民・県民の生命・財産・安全を守る立場から
米軍及び関係当局に対し、嚴重に抗議・要請する

原案
可決

補正予算

台風被害に

2千820万円の増額!!

討論!

県民投票

補正予算 782万5千円を問う

主な賛成討論 6人

- 地方自治法で法的に保証されたもの。税金の無駄遣いではなく県民、町民の権利。 **新垣千秋 議員**
- 予算に対し町民が約2万8千人、1人当たりでは279.4円県民の思いは、これ以上のものがある。 **玉那覇淑子 議員**
- 県民投票条例では、市町村は投票の実施を拒否した場合、法令上違法になる。 **友利勉 議員**
- 戦後74年間苦しい思いを耐えてきている中で度重なる事件・事故が多発した。この民意を問わなければならない。 **宮里廣 議員**

※ほか 高安完成議員・宮里歩議員

主な反対討論 2人

- 「賛成」「反対」「やむを得ず賛成」「どちらかとも言えない」4択に広く県民の意見を聞くべき。複雑な民意を2択だけで諮るのは乱暴すぎる。 **仲地泰夫 議員**
- 予算をかけてやるからには県議会で全会一致にし、全県民41市町村でやるのが望ましい。 **渡久地政志 議員**

原案
可決

賛成 12人 起立多数 反対 5人

原案
可決

美浜アメリカンビレッジ地区（美浜地区整備計画区域）を追加し一体的に!

「フィッシャリーナ地区」は…

『西海岸地区』へ!!



目的 ☆地域住民及び観光客等が安全・安心・快適に過ごせる魅力ある観光リゾート地を目指す

議員からの
Check! 〇〇〇

- ごみのポイ捨て等、問題点が指摘されているが事例や経緯は
- フィッシャリーナ地区は指導員、アメリカンビレッジはボランティアとあるが緊急時の対応は

可決

指定管理者の指定について

～町民にとってより素敵なサービスになりますように～

北谷町障がい者 申請件数1社 5年
地域活動支援センター



指定管理者
社会福祉法人残波かりゆし会
指定管理料 年間 2千199万円

北谷町シルバーワーク 5年
プラザ 公募によらない指定



指定管理者
公益社団法人北谷町シルバー人材センター
指定管理料 0円

北谷町健康 申請件数3社 6年
トレーニングセンター



指定管理者
セイカスポーツ・北谷スポーツセンター共同事業体
指定管理料 年間 1千400万円

北谷町海業振興センター 5年
申請件数1社



指定管理者
ザ・テラスホテルズ株式会社
指定管理料 年間 1千400万円

議員からの
Check! 〇〇〇

- 健康トレーニングセンターにおいて管理が6年間になっているが、3年刻みでやるべきでは

定例会と臨時議会2回を掲載しております。
詳しくは北谷町議会ホームページをご覧ください。



第479回～第481回 臨時会・定例会 議決結果賛否一覧表

議 案	議 決 結 果	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
		氏 名	大 浜 ヤ ス 子	新 垣 千 秋	玉 城 靖 規	喜 友 名 盛 充	渡 久 地 政 志	又 吉 朋 和	友 利 勉	照 屋 正 治	宮 里 廣	高 安 克 成	宮 里 歩	玉 那 覇 淑 子	與 儀 誠	仲 地 泰 夫	喜 友 名 朝 哲	阿 波 根 弘	田 場 健 儀	仲 栄 真 恵 美 子	龜 谷 長 久
第479回 北谷町議会臨時会（平成30年11月9日「金」）																					
米海軍所属HH-60ヘリコプターの事故に対する抗議決議	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	欠	○	／
米海軍所属HH-60ヘリコプターの事故に対する意見書	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	欠	○	／
米海兵隊員による道路交通法違反事件に対する抗議決議	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	欠	○	／
米海兵隊員による道路交通法違反事件に対する意見書	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	欠	○	／
第480回 北谷町議会臨時会（平成30年11月26日「月」）																					
米海兵隊員による傷害事件に対する抗議決議	原案可決		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
米海兵隊員による傷害事件に対する意見書	原案可決		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
FA-18戦闘攻撃機の墜落事故に対する抗議決議	原案可決		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
FA-18戦闘攻撃機の墜落事故に対する意見書	原案可決		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
北谷町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
北谷町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例及び北谷町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決		○	×	○	欠	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	○	○	○	○	／
平成30年度北谷町一般会計補正予算（第3号）について	原案可決		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	○	／
平成30年度北谷町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	原案可決		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	○	／
平成30年度北谷町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	原案可決		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	○	／
平成30年度桑江伊平地区造成等工事請負契約について	可決		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	○	／
第481回 北谷町議会定例会（平成30年12月11日「火」～12月20日「木」）																					
北谷町税条例の一部を改正する条例について	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の特例に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
北谷町印鑑条例の一部を改正する条例について	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
北谷町フィッシャリーナ地区の快適な環境づくり条例の一部を改正する条例について	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
平成30年度北谷町一般会計補正予算（第4号）について	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
平成30年度北谷町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
北谷町障がい者地域活動支援センターの指定管理者の指定について	原案可決		○	○	○	病	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
北谷町シルバーワークプラザの指定管理者の指定について	原案可決		○	○	○	病	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
北谷町健康トレーニングセンターの指定管理者の指定について	原案可決		○	○	○	病	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
北谷町海業振興センターの指定管理者の指定について	原案可決		○	○	○	病	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
米軍嘉手納基地所属の空軍兵による銃所持脱走事件に対する抗議決議	原案可決		○	○	○	病	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
米軍嘉手納基地所属の空軍兵による銃所持脱走事件に対する意見書	原案可決		○	○	○	病	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
米軍人・軍属による相次ぐ道路交通法違反事件に対する抗議決議	原案可決		○	○	○	病	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
米軍人・軍属による相次ぐ道路交通法違反事件に対する意見書	原案可決		○	○	○	病	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
北谷町議会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決		○	○	○	病	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
平成30年度北谷町一般会計補正予算（第5号）について	原案可決		○	○	○	病	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	／
平成31年度福祉施策及び予算の充実について（要請）	採択		○	○	○	病	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
普天間基地5年以内運用停止の遵守を求める議会決議の陳情	採択		○	○	○	病	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
米軍普天間飛行場の5年以内運用停止の遵守を求める意見書	原案可決		○	○	○	病	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議員派遣の件																					
議員派遣の件	・ 沖縄県町村議会議長会主催「町村議会副議長研修会・交流会」（平成31年1月30日「水」） ・ 沖縄県町村議会議長会主催「新人議員研修会」（平成31年1月31日「木」） ・ 北谷町議会主催「議員研修会」（平成31年2月4日「月」） ・ 議会運営委員会県外行政視察研修（平成31年2月6日「水」～2月8日「金」） ・ 沖縄県町村議会議長会主催「町村議会議員・事務局職員研修会」（平成31年2月15日「金」）																				
	※議案賛成者は（○）とし、反対者は（×）とします。退席者は（退）、公務の欠席者は（公）、議場に不在は（-）、疾病の欠席者は（病）、配偶者の出産補助の欠席者は（配）、出産のための欠席者は（産）、所用の欠席者は（欠）としています。 議長は、採決に加わらないため斜線としています。法律により、採決に加わらない議案については（除）としています。																				



いちばん保育料負担の重い0歳から2歳までの無償化はどうなるのか



無償化は0歳から2歳までの住民税非課税世帯の児童となっている



たまな は ひでこ
玉那覇 淑子 議員

幼児教育の無償化を問う

問 無償化に当たって、本町の①対象者②対象人数③国、県の負担割合はどうなっているか。また、いちばん保育料負担の重い0歳から2歳までの無償化はどうなるのか

答 ①対象者は、幼稚園、保育所、認定こども園、認可外保育施設等を利用する3歳以上の児童と0歳から2歳までの住民税非課税世帯の児童。②対象人数は、約600人。③負担割合は、おおむね国2分の1、県4分の1、町4分の1。

問 ①国から支給される保育所の公定価格における人件費の算定根拠は。②公定価格は保育時間を何時間として保育士を配置しているのか

答 ①公務員の給料の変動が加味、昨年度は保育士の専門性向上と技能、経験に応じてキャリアアップできる組織体



さらなる子育て支援の充実を

就学援助の支援は行き渡っているか

問 ①市町村住民税非課税該当世帯②保育第二階層までの人数に対しての援助率の現在の状況は

答 ①平成30年度の小学校1

年生の就学援助率は86・3パーセント。②平成30年度小学校1年生の就学援助率は88・5パーセント。

問 援助を必要とする保護者がしっかりと情報を得ることができているか、現況を伺う

答 就学援助認定者数及び就学援助率も毎年増加してきており、今年度は、非課税世帯の小学校1年生への援助率も改善してきた。就学援助制度の周知は図られてきている。

子育て環境、福祉の充実

問 本町の子ども食堂開設数、予算の仕組みを伺う



おひさまカフェの様子

答 子ども食堂の開設数は1か所。予算の仕組みは、北谷町子どもの居場所運営支援事業補助金交付要綱に基づき補助金を交付。財源は内閣府の沖縄子供の貧困緊急対策事業費補助金を活用し、10割補助。

問 若年出産が多くなっていると聞くが本町の統計があるか。また、支える制度や居場所が必要と考えるが、本町の体制を伺う

答 平成29年度沖縄県の市町村母子保健統計における親子健康手帳交付・妊娠届出状況によると、妊娠届出374件のうち、19歳以下の方が5件で1・3パーセント。出生数は、334件のうち、19歳以下の方の出生数は8件で2・4パーセント。支援体制は、若年に限らず、子ども家庭課児童相談員及び保健衛生課地区担当保健師による相談支援、保健指導を行っている。

他に次の質問をしました

・まちなみ博物館周辺整備について



きゆうな もりみつ
喜友名 盛充 議員

Q 青年会を子どもの貧困の観点から調査をしたことがあるか。また、その必要性はないか

A これまで青年会を子どもの貧困の観点から調査したことはない。青年会を所管する課と連携を図り調査研究する

北谷町内の水銀灯を問う

問 水銀に関する水俣条約の発効により2020年に水銀灯が廃止、製造中止になる。対象となる水銀灯が使われた街灯、防犯灯等が、町内に幾つあるか

答 照明灯の数は、道路照明灯497基・防犯灯55基・自治会に設置されている保安灯1,399基、公園灯392基、合計2,343基。学校施設は、屋外の投光器22基。球切れや機具の更新時期に取り換えを行っているため水銀灯使用の投光器も減少。詳細な数の把握には時間を要する。

問 取り換えに対し、国、県からの補助金等はあるのか

答 総額について、水銀灯の詳細な数を把握するのに時間を要するため現段階では不明。国、県等からの補助金等について当該対象となる補助がないか調査する。

問 どのように対策を行っていくのか

答 取り換えを行う場合、球が切れたものから順次交換す

定。基本的には水銀灯からLED灯に切り換える方向で検討。



水銀灯からLEDへ切り換えを望む

子どもの貧困対策は

問 その目的は

答 子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備するとともに、教育の機会均等を図るため、子どもの貧困対策を総合的に推進する。

問 取組んできた事業数と、その成果、課題は

答 主な事業は5つ。「子どもの貧困対策支援員配置事業」

スクールソーシャルワーカー等と連携し生活困窮世帯の子どもを無料塾や児童館等の居場所へつなぐことができた。

子どもの居場所運営団体と社会福祉協議会との連絡会に参加し福祉団体との連携強化に取り組んでいる。課題は、役割分担が当初予定と違い福祉と教育の連携が不十分。連絡会の開催が滞っている。「学習支援等をおした子どもの居場所事業ちーたん塾」は、対象児童のニーズに合わせた学習の取組ができており、平成29年度から送迎を導入。北谷小学校・北玉小学校の児童の通塾が増加。課題は、学習の取りこぼしが多く、学校教育課への情報提供等、連携が不十分。「子どもの居場所運営支援事業」は、二つのボランティア団体へ補助金を交付。団体「HOME」を卒業した生徒のほぼ全員が進学・就職へとつながっている。団体「はっぴー」の対象を生活困窮世帯に限定しなかったことで子どもたちが気兼ねすることなく参加ができる場となった。課題は、今後どのように活動を継続していくのか

という点だが会の動向を見極めながら支援。「就学援助の充実を図る事業」は、学校と連携し就学援助制度の周知徹底を図った。新入学児童生徒学用品費の入学前支給及び認定基準の緩和。児童扶養手当の現況届期間中に対象者へ周知を徹底し申請につなぐことができた。課題は、より効果的な制度周知や理解促進を図るため連携を強化する必要がある。「スクールソーシャルワーカー派遣事業」は、各校からの情報をもとに、就学援助や無料塾等、必要な支援につなげている。課題は、学校を起点とした対象者把握が不十分。



子ども達のためにさらなる連携を



ともり つとむ 友利 勉 議員

Q デジタル防災無線システムに更改することで町民、来訪者へどのような影響（メリット）があるか

A 良質な放送ができ各子局と親卓で通話が行える、高性能スピーカーを設置で広範囲な放送が可能となる

災害に強いまちづくり

問 アナログ防災無線システムから、デジタル防災無線システムに更改することで、防災行政業務や町民、来訪者へどのようなメリットがあるか、合わせて工事の進捗状況を伺う

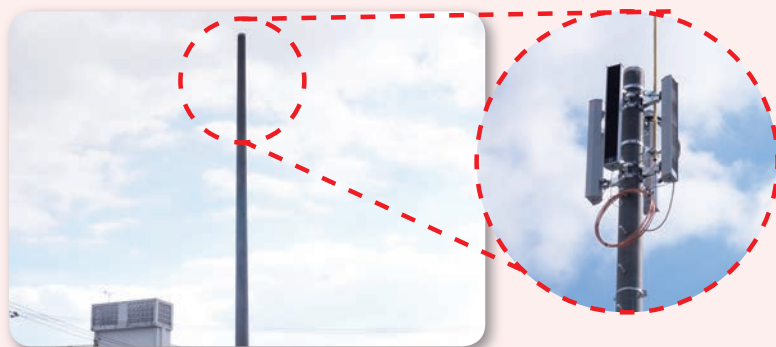
答 メリットとして、雑音が入らず良質な放送ができ各子局と親卓で通話が行えるほか、難聴地域の解消に向けて高性能スピーカーを設置することで広範囲な放送が可能となる。工事の進捗状況は、現時点で20か所全てに柱が建柱。屋外スピーカーの設置、親卓の導入は1月以降を予定。

問 平成30年度北谷町地震・津波避難訓練状況と訓練の成果、今後の課題を伺う

答 訓練の成果は、避難経路及び避難所要時間の確認を理由に訓練に参加された方が約9割、避難経路及び避難時間の確認という目的は、達成できた。課題はいかにして若い世代の方を参加させるか。

問 地域防災計画の内容、業務継続計画（BCP）の内容を伺う

答 西海岸地域の方の避難経路確保のため、米軍基地内を避難経路とする協定を締結。東部地域は、山間部の狭い地域における避難経路の指定を行うなど取組んでいる。業務継続計画は、災害時に行政自らが被災した場合に、人、物、情報等利用できる業務を



順次、高性能スピーカーを設置予定

特定し、業務の執行体制や対応手順、継続に必要な資源の確保等をあらかじめ定める計画。

道路行政と交通安全対策は

問 東洋飯店前交差点への信号機設置の進捗状況は

答 本年度4月に同交差点において、町独自で交通量調査を行い沖縄警察署へ信号機の設置について要請。桑江17号線が開通された時期において、再度、同交差点の交通量調査を実施し、沖縄警察署へ要請を行いたい。



東洋飯店前交差点に信号機の設置を！

問 町道伊平桑江線と国体道路の交差点で、県道の上勢頭側の停止線と中央分離帯の改善見直しを要請する考えはないか

答 関係機関と交通安全対策について適切に協議を実施した上で工事を実施している。しかし、安全性の向上を図る観点から、関係機関と協議したい。

学校給食センター建設計画を問う

問 いつまでに町民の理解を得て結論を出すのか

答 平成31年度当初に基本設計の残分業務に当たり、基本設計が完了した後、実施設計に着手し、その後、建築工事着工、完了検査、試験運用等の後、新学校給食センターによる学校給食の供用開始を予定している。

他に次の質問をしました
・町民農園の活用について
・産業まつりについて



とぐち まさし
渡久地 政志 議員

Q 平成31年度新規事業である観光防災力強化市町村支援事業を活用する考えはないか

A 予算が確定し、その後各市町村等へ新規事業の説明がされる。事業内容等を精査し、本町に即した事業を検討していきたい

防災力強化は

問 平成31年度新規事業である観光防災力強化市町村支援事業を活用する考えはないか。また、自主防災組織への活用も可能か

答 同事業の予算が確定し、各市町村等へ新規事業の説明がされるものと考えており、事業内容等を精査し、本町に即した事業を検討していきたい。活用について現時点の情報では、同事業の交付対象は市町村となっている。

問 町内で防災機能を有する避難所（学校・公民館）等は整備されているか。現在ある和式便所を洋式便所に変更も可能か伺う

答 平成25年度から計画的に学校施設の耐震化を進めており、今年度までに全ての耐震改修工事を完了予定。和式便所を洋式便所に変更については、便器の破損や不具合が出た場合に切り換えにより変更を行っている。

問 防災力強化には、各自治会での自主防災組織の結成が重要だと考えるが、現在の進捗状況を伺う

答 平成29年度に桃原区、栄口区、謝荊区、宮城区、美浜区の5行政区の自主防災組織を認定。本年度は、新たに北前区の自主防災組織を認定し、現在6行政区の自主防災組織が認定を受けた組織として活動を行っている。



栄口区自主防災訓練の様子

道路行政を伺う

問 桃原給油所向かいの集合住宅地一画で浸水被害が続いている状況、平成27年度的一般質問で「大雨時の排水対策を検討する」とあったが進捗状況は

答 当該道路は、私道のため町主体で排水設備の改良工事等ができない。地権者の同意を得て、行政区や県道路管理者と協議しながら、排水処理方法を検討したい。

水道事業を問う

問 水道事業の広域化も検討されているのか

答 沖縄県水道事業広域連携検討会（本島ブロック中部地区）において、本町を含め各事業体に確認したところ、広域化については検討していないとのこと。

問 官民連携について現在の考えを伺う

答 本町では経営戦略を策定中だが、改修費の平準化を図り維持管理すること、おおむね良好な経営状況で推移することから民間委託は考えていない。

問 現在、国会で議論されている水道法改正による影響は

答 一つ目に水道施設の維持・修繕及び水道施設台帳の作成が義務付けられること、二つ目に指定給水装置工事事業者制度について5年の更新制を導入することになったことから、指定工事事業者に関する条例等の改正等が必要。



おおはま やすこ 議員

Q 行政懇談会で要望があった全行政区の総件数、解決数、未解決数は

A 全行政区延べ306人の参加、171件の質問や要望等があった。対応が完了した事案は115件。状況を見守る必要がある事案や調査、研究、協議等の作業が引き続き要する事案は56件



まちづくりに活用される行政懇談会

行政懇談会を問う

問 これまでの未解決案件は検証されているか

答 その大半を既に対応済み。残された質問や要望等については、各課において、調査・研究。関係機関との協議等を行い、予算が伴うものは財源の確保・調整に努めながら、早急に対応できるよう取り組んでいる。

課題と今後の取組は

答 継続的な対応、関係機関との協議・調整、多額な予算を必要とする場合の財源の確保が課題。今後とも引き続き関係各課において、これらの課題解決に取組む。

「学童保育」の防災対策は

問 学童クラブ（放課後児童クラブ）の防災マニュアルの作成及び緊急時の連絡体制の整備について条例化されているか。また、緊急時の連絡体制の整備は

答 訓練の実施は毎年度、各施設からの補助金実績報告書において確認。マニュアルの作成、非常時の連絡体制の構築等は条例での義務付けはされておらず、訓練の内容や方法等について具体的に指導や助言等はできていない状況。これまで、沖縄県教育委員会が策定した「児童生徒等の安全確保対策危機管理マニュアル」を参考に防災対応を行うよう各事業所に対し情報提供をしている。



役場庁舎にある災害時の備蓄品

問 防災時における備蓄品の現状は

答 役場庁舎、ちやたんニライセンター及び保健相談センターに、非常用食料としてアルファ米、マジックライス、ヒートレス野菜カレー、みそ汁缶等を計5,194食、食料品として備蓄。非常用飲料水として500mLのペットボトルが6,192本、2Lのペットボトルが1,020本を飲料品として備蓄。災害時に備えて備蓄品等を管理している。

子育て支援について

問 放課後児童健全育成事業

答 は 公立1施設、民間5施設あり、民間施設に対しては子

ども・子育て支援交付金を財源として運営費の補助を行っている。

問 現在、保育所の待機児童数と今後の受入体制は

答 平成30年12月1日時点における待機児童数は87人。低年齢児においては各施設空きがない状況、今後の受入れは保育士の採用による受入人数の増や退所に伴う案内のみとなるため、年度内の受入拡大は見込めない状況。次年度は定員70人の認可保育所1施設が開所予定となっており、受け皿が拡大される見込み。

問 子育て支援で新たな施策を検討されているか

答 平成31年度新規事業は、休憩取得のための代替保育士を配置する事務所に対して人件費の一部を補助する「保育士休憩取得支援事業」の実施予定。次年度は、病気の治っていない児童を受け入れるため、「病児対応型」へ機能を拡大する予定。

他に次の質問をしました
・安全・安心のまちづくり



たかやす かつなり
高安 克成 議員

Q 今回の台風災害は多くの課題を認識。被害状況・課題の把握とその後の検討・対策は

A 西海岸での強風・高波による浸水等の被害があり、広域の地域が停電、住民生活に多大な影響を及ぼした。今後の災害に対する課題等に事前に対応できるよう情報共有を図りながら取り組む

防災対策について

問 今回の台風災害は多くの課題を認識。被害状況・課題の把握とその後の検討・対策は

答 課題は、西海岸での強風・高波による浸水等の被害があり、特に宮城海岸地域の住民が暴風警報発令中に避難した。事前に被害を想定して避難勧告の呼びかけを行うことができれば、避難者が避難する際の危険を回避し、より安全に避難行動ができた。また、本町においても広域の地域が停電。一部のライフラインが遮断される状況が発生し、住民生活に多大な影響を及ぼした。今後の災害に対する課題等に事前に対応できるよう庁舎での連携及び情報共有を図りながら取り組んでいく。

また、国道58号付近への避難を最短で目指すことで津波災害を逃れる可能性がある。その周知と理解は済んでいるのか

公園の設置を問う

問 国道道路入口角の2号街

区公園予定地は、子供らへの影響・問題が多いと考えるが所見を伺う

答 小学校や幼児を対象とした公園計画では安全確保が難しいことから、公園利用者は主に成人を想定。

問 計画をするに当たり、当該地域の住民要望や粉塵等の実態調査を行ったか

答 環境等の調査は公園を設置する基準には規定されていないので、環境などの実態調査は行っていない。公園それぞれの配置は、区画整理事業の進捗に合わせ、地権者説明会を開催し説明。地権者合意の得られた配置となっている。

県民投票について

問 県民投票の意義や義務について所見を伺う

答 多くの県民の署名の提出に基づき制定されたこの条例は、普天間飛行場の代替施設として国が名護市辺野古に計画している米軍辺野古基地建設の賛否を問う県民投票を実施するもの。当該条例の施行により、第13条で投票等に関

連する事務は各市町村が処理することとなり、適正及び円滑に投票事務を執行していくことになる。

問 周知主体、本町の周知方法は

答 周知の主体は沖縄県。本町の県民投票の周知活動は、懸垂幕や横断幕を設置し、町民に対し県民投票の周知を行う予定。



みんなで行こう県民投票

- 他に次の質問をしました
- ・指定管理制度について
 - ・学校給食センター事業
 - ・町立博物館事業について
 - ・動物愛護について

Q キャンプ瑞慶覧倉庫地区及び白比川沿岸区域の 返還後跡地利用計画と地権者との話し合いは

A 地権者代表の皆様と約2年間で8回の勉強会
と意見交換をしてきた



なか ち やす お
仲地 泰夫 議員

一般質問

キャンプ瑞慶覧倉庫地区、 白比川沿岸区域の返還 後の跡地利用を問う



白比川沿いのキャンプ瑞慶覧倉庫地区

問 北谷城を中心とする山の
部分、倉庫地区を中心とする
平地部分の活用計画は

答 城が築かれている山も貴
重な文化財、平地部分は、白
比川と北谷グスクに囲まれた
特徴ある地形での活用に、課

題を抽出し、様々な
開発手法の意見交換
を行ってきた。

問 返還後整備に防
衛予算、文化庁予算
の活用や給付金の活
用を伺う

答 北谷城一体の山
は、国指定に向けて
の取組に、文化庁予
算を活用したい。そ
の他の補助メニュー
は、今後の土地利用
に応じ調査検討。

問 県と白比川の拡
張工事の整備計画の
調整の進捗は。地域
住民から花の並木道
や白比川に橋を架け

てほしい要望があるが検討は
答 次年度予定の基地返還か
ら支障物の除去、引き渡し等
国による手続工程を想定し、
平成32年度から平成34年度に
河川改修工事予定。植栽帯の
整備はできない。橋の設置は、
地権者からも要望が挙がって
おり、必要性を県へ訴え河川
管理者と協議している。

問 次年度に返還された場合
の全体計画は

答 丘陵地の国指定文化財に
向けて作業。平坦地部分は地
権者と共に土地区画整理事業
を推進。白比川改修は防災の
観点から早急に整備。

町立図書館利用の促進 と読書活動の推進につ いて

問 読書意欲を高め、行政と
学校が一体となって取組む読
書通帳システムを導入する考
えはないか

答 県内で読書通帳を導入し
ているは恩納村のみ。今後導
入館での運用状況を確認し、
貸出履歴保護及び図書館シス
テムの管理等について、調査
研究していきたい。

問 専門学校や北谷高校の図
書委員との連携や交換展示を
とおして10代の読書ニーズに
応える取組は

答 北谷高等学校からのイン
ターンシップの受入時、町立
図書館での作業体験で「高校
生が選んだ本」と題し、10冊
程度の本を展示、紹介したこ

とがある。

問 今後の利用促進について
答 他の市町村における効果
的な取組も検証しながら、提
案のあった「読書通帳シス
テム」や生徒や学生からの意見
を反映できる仕組みづくりを
研究。



北谷町立図書館を利用して読書活動を増やそう

他に次の質問をしました

- ・葬儀費用（葬祭場使用料
の負担軽減について）
- ・ブロック塀の安全確保の
推進について



たまき やすのり
玉城 靖規 議員

Q 福祉分野の「上位計画」としての位置付けが必要な「地域福祉計画」。計画策定は積極的に進めるべきでは

A 平成31年度、地域福祉計画の基礎調査業務を行い、翌年度に策定業務を予定

地域福祉計画の策定は

問 現在、福祉計画対象ごとに計画が策定されているが、どう位置付けをするのか

答 福祉の各分野の共通事項を定める福祉分野における上位計画として位置づけられる。高齢者福祉計画などの対象者別福祉関連計画や、健康づくり計画（健康ちゃんたん21）、その他関連計画等との整合性を図り、計画を策定する。

問 町民にとって計画策定は、どのような利点があるか

答 生活課題を含めた福祉ニーズにきめ細かく対応するには、公的な福祉サービスだけでは対応することは難しく、地域の手助けが必要。支援を必要とする町民を、地域ぐるみで支え合うための施策を推進し、住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域づくりを目指す。

町民が利用できる大型バスを問う

問 町内の児童デイサービス等も利用ができるようになれば、多くの中型バスと職員の人数が必要な移動も、1台の大型バスで安全に移動することができると。障がいをもった児童も、「みんなバスに乗って遠足に行く」という楽しみを経験できる。バス利用の範囲を増やすことはできないか

答 「福祉バス」との組み合わせ等、今後研究。



障がい児施設等の利用もできますように

問 福祉関係課独自で「移動バス」を整備することを望む声を町民から耳にするが、バスの整備は将来的にできないか。また、町民から声は挙がっていないか

答 保育所等から、園外行事でのバス使用の要望があるが「福祉バス」については、6歳未満のチャイルドシートを必要とする団体は、使用の対象外。

浜川小学校登下校時の児童の安全確保は

問 横断幕や立て看板等を設置し、安全周知に取組む必要があると思うが、予算等を十分に付けていけないか

答 朝の登校及び通勤が重なる時間帯において多くの車両が通行することから、交通事故を懸念して児童・生徒の交通安全対策に対する地域か



登下校時の安全確保が望まれる浜川小学校前

らの要望等がある。予算について、どのような交通安全対策が児童・生徒や車両の運転手にとって効果的な周知方法なのか検証する必要がある。地域の実情をよく知る自治会長や同地域在住の議員等と意見交換を行いながら対策を検討していきたい。

他に次の質問をしました
・除草剤の使用について



照屋 正治 議員

Q 今会議で補正予算が計上、可決された台風被害の状況と避難人数、消防への通報件数は

A 人的被害2件。避難者数は、台風第24号がニライセンター35人、保健相談センターが2人。25号はニライセンター11人、保健相談センター3人。消防通報件数は合計151件



美浜交差点の信号機に右折矢印を

災害及び防災対策について

問 砂辺264番地一帯の海岸線、高波の浸食被害や墓地への被害も多い。以前から被害状況を相談してきたが、今後の対策及び県との協議は

答 10月初旬に現場を確認、現状報告を海岸管理者の中部土木事務所に報告。11月初旬

に、県の担当者を含む関係者で現場確認。今後は、県海岸防災課が窓口となり検討を行うとのこと。

信号機の見直し及び設置と道路行政等を問う

問 町道伊平線から国道58号交差点及び美浜交番前の十字路の信号機に右折矢印が必要では

答 国道58号側の右折矢印信号の設置は、沖縄警察署に要請を行ったが、同署の調査で不採用。美浜交番の前の交差点は交通量調査を行ったが、国道58号を含めた大掛かりな信号機の点灯時間の調整が必要になり、沖縄警察署とも十分な調整が必要。

問 町道奈留川線・伊平桑江線交差点の十字路及び来年4月供用開始予定の町道桑江17号線

の起点に信号機の設置が必要では

答 沖縄警察署の判断として桑江17号線が通行止めになっていることが原因の一つ。道路が開通し、交通の流れが正常に戻った後に、再度要請をお願いしますとの回答。

米軍基地問題は

問 三連協及び軍転協では、関係機関に対しどのような要請行動等が行われているのか

答 「三連協と第18航空団との意見交換会」を実施。「嘉手納飛行場における騒音規制措置」に基づく地元レベルの会議を継続的に実施することによって、航空機騒音の軽減につなげることが目的。軍転協では、定期要請及び緊急要請とし、基地から派生する諸問題の解決促進及び相次ぐ米軍機事故について要請。

問 米軍人・軍属の事件や事故の多くは、深夜から早朝にかけて起こっている。関係機関に対し、パトロール強化や教育の徹底等を更に要請すべきと考えるが



沖縄防衛局長に強く要請する三連協

答 米軍に対して勤務時間外行動の指針・リバティ制度の遵守及びその教育の徹底を再度要請するとともに、沖縄県警察に対しては、町民の安全・安心確保のための警戒や警ら活動の強化を始め米軍憲兵隊との連携強化等も要請。



き ゆ な ちょうけい
喜友名 朝哲 議員

Q 台風24号と25号の宮城海岸の被害状況と対策は

A インターロッキングブロックと転落防止柵、ベンチ2基が被害。被害額は1千525万円。応急処置として仮設の転落柵を設置

一般質問



インターロッキングブロックの被害状況



早急な転落防止柵の復旧を！

問 職員に残業体制とその理由を問う

答 時間外勤務については、本年度4月から11月までの職員全体の月平均が1,837時間。昨年度の月平均は1,766時間。若干増加傾向にある。主な理由として、少子高齢化や価値観の多様化等に伴う行政ニーズの高度化及び多様化が挙げられ、様々な施策等が速められる中で市町村の業務量は年々増加傾向にある。職員の市町村アカデミー等へ派遣する県外研修、沖縄県

問 台風24号と25号の被害状況と対策は

答 インターロッキングブロックが面積で450平方メートル、転落防止柵が延長で110メートル、ベンチ2基、被害額が1千525万円となっている。補正予算で宮城災害復旧工事を計上。応急処置として仮設の転落防止柵を設置。

問 西海岸の防災、防犯を問う

問 防犯カメラも含む、今後の宮城海岸の復旧は

答 防犯カメラについては、台風の影響により3台が故障。現在カメラを取り外して故障個所の点検を行っている。新たに3台、故障があるが、これについても機器の確認をしていきたい。

北谷町の人事状況について

問 職員の残業体制とその理由を問う

市町村職員研修センター等へ派遣する県内研修、庁舎内で実施する研修等を受講するなど、業務遂行能力を高めるために取組んでいる。時間外勤務は、所属長への事前申請を原則とし、その必要性及び緊急性を判断。また、時間外勤務が多い職員に対して労働安全の観点からヒアリング等を行っている。職員全体のワークライフバランスに配慮した行政運営を図っていきたい。

北谷地区サイン計画

問 西海岸地区サイン計画とは

答 地域住民や来訪者が分かりやすく、かつ的確に早く目的地に到達することができるよう、既存道路標識と連動した案内・誘導システムの構築を推進する目的として、平成18年度及び平成19年度に設置工事を行っている。歩行者や車両に対する共通したサインとして、公共公益施設の案内を含む情報発信を行っており、多くの来訪者に分かりやすいサインとなっている。



改善が望まれる西海岸地区サイン計画

問 宮城海岸の犬の糞の看板に破損や落書きなどがあるが修繕や対策は

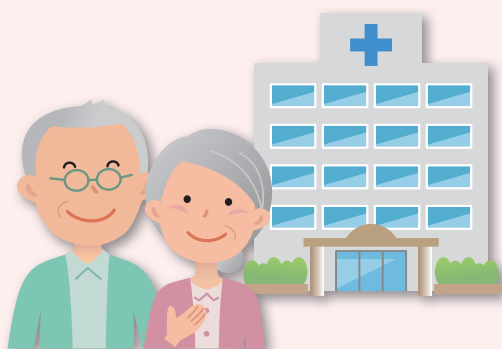
答 宮城海岸等の注意喚起等の看板については、現地を踏査して壊れているものは、設置方法や寸法等の大きさも検討しながら改修し、落書き等で汚れているものは、落とすなどの対応を行っていきたい。



なかえ まいこ
仲栄真恵美子 議員

Q 人の健康、町健康について

A 特定健康診査を受け、重要性の普及啓発を行い、未受診者への受診勧奨や医療機関との連携など受診率向上に向けた取組を重点的に行っている



重症化を防ぐため、特定健診へ

町民の健康状態を伺う

問 生活習慣病対策とその成果は

答 特定健康診査等の受診率向上の取組強化により、近年の特定健診受診率は年々改善傾向で、特定保健指導実施率は県の平均値を大きく上回っている状況。しかし、県内市町村の特定健診受診率と比較すると、依然として低い。行政と地域との連携を強化し、健康意識の機運が高められるよう努めていく。

問 町内の糖尿病患者数とその療養に掛かる補助額

答 国民健康保険被保険者に係るレセプト情報のみ把握で糖尿病疾患患者数832人。糖尿病疾患に対する補助はない。

問 町内のHIV患者の実態とその対応、梅毒患者の実態と対応は

答 市町村ごとの統計は公表されておらず、沖縄県における平成29年度に新たに届け出のあったHIV感染者数は23人、AIDS患者数は8人、梅毒患者数は43人。性感染症業務は保健所の責務。本町は中部保健所との連携による相談対応や普及啓発活動を行っている。

健康指導の状況を問う

問 生活習慣病対策の指導状況は

答 平成29年度の特定健康診査の結果に基づく健康指導の実績は、特定保健指導が187人、二次健診が40人、生活習慣病予防支援が14人、生活習慣病重症化予防支援が354人、個別運動指導が12

人。

問 健康補導員の導入について伺う

答 地区保健師において自治会との連携強化を図り、地域保健活動の推進に取組んでいる。行政と地域との協働による健康づくりの推進に努めていく。

まちづくりについて

問 公園内の緑化と管理で、公園内の植栽、大きな木の下の草の管理は

答 各公園の指定管理者が行い、一部の公園や緑地における草刈り作業などはシルバー人材センターへ業務委託。

問 町内の植栽ますの管理について、地域にボランティア募集の公募は

答 ボランティア募集の公募は行ったことはない。今後ボランティア活動を広めていくとした場合には、公募することも一つの方法であると考えている。

道路行政について

問 東部地区の道路の標識(道路の白線等)の管理はどうか

答 基本的に公安委員会となっており、道路改良工事に合わせて町で整備し、消えかかっている白線は公安委員会に県警協議の上、町が引き直している。



消えかかった北谷小学校前の横断歩道



しんがき ちあき
新垣 千秋 議員



北玉区の地滑りは応急措置済み

引き続き安全対策をしっかりとっていただくため、本格的な工事をしていただきたい



平成30年度に調査設計を発注済みで、平成31年度に工事を予定している

問 保育所で、発達障害の子どもに支援員がついているのか

答 保育所への入所時に、発達障害の診察も受けているか
問 特別支援保育を申し込む際は、心理士、有識者による発達検査を実施、その検査結果をもとに支援の必要性の判定。

保育について

問 応急措置をした地滑り部分の周知は
答 当箇所の付近住民には声掛けをし、人が近づかないように立入禁止の看板を設置して対応。

北玉区の地滑りの状況は



応急措置後の北玉区の地滑り

問 特別支援保育が必要と認定された児童に対して、加配保育士を対象児童3人に対し1人配置。障がいの程度で2対1、1対1とする場合もある。
問 専門知識のある支援員やカウンセラー等の活用は
答 育ちの支援センター「いっば」に臨床心理士を配置。乳幼児の発達等の相談、特別支援保育対象児童等に対する発達検査、保育所等への巡回相談等を行っている。保育所を対象にした勉強会を実施。今年度は新たに、謝荊保育所で保育所訪問支援の体験利用を実施。

歩車道境界縁石ブロック、点字ブロックを問う

問 美浜・フィッシャリーナ地区の歩車道境界縁石ブロック、点字ブロックを設置、整備の際、車いすやベビーカー利用者、視覚障がい者等から聞き取りしたか
答 聞き取りは行っていない。



推奨される浜川小近くの歩車道境界ブロック

問 北谷球場前の歩車道境界縁石ブロックは、約5cmの段差。車イス、ベビーカーの利用に不便、設置する縁石ブロックの段差等の基準は
答 現状での5cmの段差は、整備当時のガイドライン等で基準なし。今後、修繕の際、現ガイドラインに沿って検討。

他に次の質問をしました
・町内の遺跡活用、まちなかガイド育成について

問 今後、道路を整備する際、浜川小付近の縁石ブロックや溝蓋を参考に施工可能か
答 今後の道路整備についても、道路構造令等の基準に則った道路の移動等円滑化整備ガイドライン等を参考に道路設計、施工を行っていく。

色にした理由は
答 当時は景観を重視。現在は道路の移動等円滑化基準の指針に沿っている。一般的に、視覚障がい者誘導用ブロックは黄色と認知されているが、現在では周囲の路面との輝度比を確保するよう点字ブロックを決定。



みやざと あゆみ 議員

Q 桑江区内の展開広場と避難道路が使用できない状況について、どのように考えているのか

A 都市計画法第33条に基づく許可基準に該当する公共施設であることから、公共施設の機能を回復し、機能維持を確保する必要があると考える

桑江区内の転回広場と避難道路について

問 町道上樋川6、7、8号線突き当たりの転回広場が使えず近隣住民の生活に支障がある。使用できなくなった理由とこれまでの経緯を問う

答 開発行為により設置された公共施設は、都市計画法第39条の規定に基づき、市町村の管理に属するが、当該転回広場と避難道路は、同条ただし書きに基づき、道路を含めた公共施設の管理者を開発事業者としており、町へ帰属されなかった。開発事業者が解散後、道路は、町へ寄附され町道認定されたが転回広場と避難道路は寄附されない状態が続いていた。当該転回広場



早期の機能回復が望まれる町道

と避難道路は、当初から分筆されておらず、本来果たすべき公共施設の機能を有さない状態となってしまった。

問 現在使用できない状況についてどのように考えているのか

答 公共施設の機能を回復し、機能維持を確保する必要があると考える。

問 転回広場と避難道路は、いつごろ町の所有になるのか

答 現時点において、帰属の時期は決まっていない。所有者に対し、これら公共施設の機能回復と維持が必要である旨を丁寧の説明し、合意が得られるよう継続的に取り組む。

病児保育を問う

問 感染症などの場合でも預けられる環境を整えられないか伺う

答 感染症などの場合でも預けられる環境整備を予定。

問 感染症の場合でも病児保育として預けられる町内の施設数は

答 対応施設なし。

問 町立保育所、認可保育園で年間何件くらい感染症に罹るケースがあるのか

答 平成29年度中の病気を理由とした欠席日数は、延べ9,917件。

子どもたちの歯科検診の状況は

問 口腔崩壊と診断されたケースは何件か。要受診とされたにも関わらず未受診の状況はどれくらいか

答 口腔崩壊の明確な定義はない。平成29年度の虫歯が10本以上と診断されたケースは、小学生3件、中学生17件。受診勧告された児童生徒のう

ち、治療証明書を提出した児童生徒は、小学校26・6%、中学校が17・9%。



守りたい子どもたちの歯の健康

問 虫歯は、貧困問題、子どもの貧困に直結すると思う。具体的にどのように取り組んでいくのか

答 年3回勧告を行っている。保護者への周知として保健だよりを使用。三者面談でも声掛けをし取り組んでいる。

他に次の質問をしました
・米軍基地における教員研修について



あは こん ひろし
阿波根 弘 議員

Q 嘉手納飛行場以南の米軍施設返還の概要・進捗について説明を求める

A 統合計画において、合計1048haの返還の見通しが示され、牧港補給地区北側進入路、キャンプ瑞慶覧の西普天間住宅地区、普天間飛行場及び牧港補給地区国道58号沿いの一部、合計約59.3haが返還済み。

嘉手納飛行場以南の米軍施設返還

問 嘉手納飛行場以南の米軍施設返還の概要・進捗について説明を

答 平成25年4月の「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画」において、嘉手納飛行場以南の米軍施設の返還について、施設・区域毎に、返還区域、返還条件（移設先等）、返還時期、具体的な返還手続・移設手順が明記。現在は、同計画に基づき平成25年度に牧港補給地区、北側進入路、平成26年度にキャンプ瑞慶覧の西普天間住宅地区、平成29年度に普天間飛行場及び牧港補給地区国道58号沿いの一部が返還済み。

一般質問

写真で見るキャンプ桑江南側地区



※いずれも、北谷町役場庁舎屋上からの撮影

キャンプ桑江南側地区 北谷町ホームページより

問 キャンプ桑江内の海軍病院、米軍学校、家族住宅の返還、移転はどうなっているか

答 キャンプ桑江（南側）返還状況は、海軍病院、平成25年3月までに本体部分の移転。米軍学校、文化財調査を関係市町村と調整中。家族住宅、移設先のキャンプ瑞慶覧の文化財調査を進めている。

問 キャンプ瑞慶覧倉庫地区の一部及び北谷城に関して進捗は

答 倉庫の移転先であるキャンプ・ハンセンの建築工事も順調。平成31年度末返還に向け作業中。インダストリアル・コリドー等は、返還時期が平成36年度又はその後として返還作業中。移設先のキャンプ・ハンセン施設の配置計画が日米間で合意され移設に向け作業を加速化。統合計画で示された当該返還区域の土地形状の奥行きが十分に確保されていないため、ハンビー地区の土地区画事業地区相当の規模での返還を関係省庁に要請中。

問 キャンプ桑江における東部地域へのアクセス道路の開通に向けた米軍側との交渉の経緯と先行返還が可能か問う

答 役場庁舎移転当時、役場への新たなアクセス道路整備は、住民サ一



町民の利便性を考え議員発案の町道構想

ビス向上の最重要課題だった。実現に向け複数案作成・検討の結果、保健相談センターから役場へのアクセス道路が最も早く実現性が高く、米軍、防衛局に共同使用に向け交渉。米軍のセキュリティの観点から町に厳しい条件があったが最終的な事務手続を行う段階まで至った。しかし同時多発テロの発生で実現できず。当アクセス道路は、キャンプ桑江の土地利用ゾーンで計画している道路のため、今後、地権者との意見交換の場において合意形成を図ってきたい。



たばけんぎ
田場 健儀 議員

Q 北谷町都市計画マスタープランにある、キャンプ桑江南側地区跡地利用について進捗状況を伺う

A 返還は「平成37年度又はその後」。現在、文化財調査とマスタープランを作成中

北谷町都市計画マスタープランについて

問 平成18年に合意されたキャンプ桑江南側地区跡地利用の進捗状況を伺う

答 統合計画に「平成37年度又はその後」と返還時期が示されており、海軍病院及び中学校などの移設が返還条件。平成25年3月の海軍病院移転後、中学校及び家族住宅は、移転先において文化財調査の準備中。319戸の家族住宅はマスタープランを作成中。

問 伊礼原遺跡からつながる町道伊平線は、歩道整備と緑化整備を充実させ、北谷城整備計画の道路整備と連結するよう考えるが

答 町道伊平桑江線は、地域幹線道路として供用開始。キャンプ桑江（南側）の返還後、南側へ延伸される予定。伊礼原遺跡と北谷城を歴



望まれる伊礼原遺跡と北谷城の整備

史・文化・緑化をテーマに繋げていく新たな魅力ある観光ルートの創出を検討。

問 「知の拠点」形成の取組み、返還前の土地先行取得状況と総額は。また、平成33年度までに取得できるのか。それ以後の計画は

答 日米地位協定が障害となり基地内の外国大学の誘致を断念。改めて方策検討を行っており国内外の人材育成に係る先進事例の情報収集及び資料収集等を行っている状況。学校用地として取得目標面積を4.5ha、総額約23億円で計画。今年度で取得目標面

積をほぼ達成する見込み。

基地返還後の魅力ある跡地利用実現のために

問 まちづくりの面からも「北谷町主体の公共施行による跡地開発」「公共買収等を行い地権者負担の軽減」「国指定以外の緑地についても城公園用地として買収」「既存市街地住宅街へ数本の橋梁を設置し防災面や分断要素の解除等を行い利便性の向上」を要望するが

答 町及び教育委員会間において、地権者意向を踏まえ相互に大きな負担が生じないよ

う支援策の検討を進めているが回答を出す段階には至っていない。

問 北谷城は、平成31年1月まで立入調査が認められたが、それ以降の計画と国指定史跡は何年になる見込みか

答 北谷城の国指定に向け、平成31年度中に報告書をまとめ、国指定への申請となる「具申書」を文化庁へ提出予定。平成32年度には国の指定となるよう取組んでいる。

問 基地返還に伴う基地従業員に対する身分保障等はどうように考えているか

答 離職した基地従業員の再就職相談や職業訓練等、アスベスト健康被害相談等を行う「沖縄駐留軍離職者対策センター」に対し、本町を含む県内の駐留軍用施設が所在している21市町村が、運営費の一部を補助金として交付している。

他に次の質問をしました
・防災対策について



みやざと ひろし
宮里 廣 議員

Q 町道北玉2号線沿いで大きな木の倒木があり危険である。町としての対応は

A 民有地からの倒木のため土地所有者が伐採等を行う必要がある。今回は道路管理者として安全上危険と判断。早急に町で対応し伐採除去済み

道路行政について

問 台風24号で破損した県道24号線旧謝莉一区公民館前のカーブミラーを早目に設置できないか

答 復旧工事は完了している。

問 台風24号の暴風で町道北玉2号線沿いの木が根元から倒れ街灯に寄り掛かっている。子ども達の登下校道路でもあり北谷町土砂災害警戒区域だが対応は

答 民有地からの倒木のため土地所有者が伐採等を行う必要がある。今回は、倒木した枝等が道路をふさいだため道路管理者として安全上危険と判断。早急に町で対応し伐採除去済み。

問 国道58号の謝莉入口バス停の復旧は



復旧を望む、謝莉入口バス停

が飛んで枠だけになっている。屋根やベンチを早急に設置してほしいが

答 国道の占用物件のため管理者へ確認。経年劣化がみられる現状から今年度内に撤去する計画とのこと。良好な待合環境の整備により、公共交通の利用促進・活性化が図られることから、本町としても新たな上屋の整備について管理者へ要請していきたい。

バス停留所の名称変更を望む

問 高宮城アパート前の名称変更手続をしてほしいがどのくらいの期間が掛かるか

答 おおむね2〜3か月。

問 バス搭載システムの経費負担等は

答 当該バス停留所は、使用するバス事業者が1社かつ上り下りの2系統のため概算で20万円ほど要する。



名称変更を！ 高宮城アパート前バス停

北谷公園野球場整備計画を問う

問 野球場入口付近歩道の壊れたタイル、ひび割れ亀裂のはいつた道路、一塁側スタンド入口付近の水はけ、倉庫Dの割れたガラスについての整備は

答 北谷公園野球場及び周辺施設は、経年劣化が見られる状況である。修繕や改修等が必要な箇所を優先順位等も考慮し対応したい。倉庫Dのガラスは、指定管理者とも協議し対応する。

北谷町民農園

問 農地をほったらかしにする人いるが応募でもれた方に譲ることはできないか

答 町民農園の利用又は解約を強制することは行っていない。多くの町民に利用していただくことを望んでおり、今後は募集の方法や貸付期間の更新要件を新たに設定するなど検討。

他に次の質問をしました

・上勢桑江児童館への公衆電話の設置について

新年のあいさつ



北谷町議会議長

亀谷 長久

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

旧年中は、町議会に対する町民の皆様
の格別の御支援、御協力を賜り、衷心よ
り感謝申し上げます。

昨年9月には、北谷町議会議員選挙が
執行され、5人の女性議員を含む19人の
議員が誕生しました。各議員がそれぞれ
の役職を担い、第11代北谷町議会構成を
成立させることができました。これも偏
に町民各位の町議会に対する深い御理解
の賜に他なりません。町民各位に対し、
あらためて敬意を表します。

言うまでもありませんが、私も議員
一同は、町民の負託を受けた代表として、
その役割と責任の重さを自覚し、決意も新
たに創意工夫を重ね、豊かで住みよいニラ
イのまちづくりを目指し、町民の御期待に
応えるよう全力を尽くしてまいります。

北谷町議会は、これまでの先輩議員や
事務局職員の御尽力により、いち早く「議
会活性化」に取り組み、「開かれた議会」

の具体化に努め、その成果は県内外から
も多くの議会関係者の視察を受け入れて
まいりました。

しかしながら、「住民と一体の議会運営」
の実現には、議員自身の尚一層の努力と創
意工夫が求められていると思います。

北谷町議会では今年度、前期からこれ
までの議会運営のあり方を検証してまい
りました。

今期は、この検証を前提にして、議員
間の議論と調査を活発に行い、その延長
線上に「議会基本条例」の制定も必要か。
検討に入るところであります。

「議会基本条例」につきましては、先進
自治体では既に制定され、実施に移され
ている自治体もあり、議会と住民、議会
と行政、議員間等の討議が活発に行われ、
その成果は当局の施策や基本計画等に活
かされています。

北谷町議会が、「議会基本条例」を制定
し、成果を生むまでには、長い道のりが必
要と思いますが、町民の皆様への御支援と
御協力を切に願います。

新年を迎えるに当たり、第11代北谷町
議会の大きなテーマを町民の皆様にお知
らせし、議員一同頑張つてまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げま
す。

平成31年3月定例会に傍聴へ行こう!!

平成31年3月4日(月)開催予定

インターネットで町議会を知ろう!!

議会の日程についてもホームページでお知らせしております。

本会議を行う議場では、手話通訳を御利用に
なれます。

○手話通訳は、傍聴予定日の7日前までに議会事務局へ
お申込み下さい。

詳細は北谷町ホームページ検索サイトで!!

HPアドレス: <http://www.chatan.jp/chogikai/>



あなたも町議会を
傍聴して
みませんか?



北谷町議会

検索

議会広報調査特別委員会
副委員長 玉城靖規



を
めざ
目指していきたく
と思いますので、ど
うぞよろしくお願
い
いたします。



「伝わる広報」

「読みやすさ」

「分かりやすさ」



らも
が、見出しやイラ
ストの配置等の工夫
をしました。これか
らも
くなつてしまいまし
たが、文字が小さ
都合上、文字が小さ
都合上、文字が小さ
な
つてしまいまし
たが、見出しやイラ
ストの配置等の工夫
をしました。これか
らも

編

集

後

記

9月



9月
から新
たなメン
バー
で議
会だ
より
の作
成に
当
たつ
てい
ます。
今回
は紙
面の
都合
上、
文字
が小
さな
つて
しま
いま
し
たが
、見
出し
やイ
ラ
スト
の配
置等
の工
夫を
し
まし
た。こ
れか
らも

ご意見・ご感想、又はお問い合わせ

議会事務局 (098) 936-3382

(098) 936-9712